

いとうまさみ

1978年生まれ。

不労所得1億円、7社のオーナーであり、154事業を黒字化させてきた経営者、そして、わらしべ読書の考案者でもある、川原悠伍さんのオンライン秘書。その傍ら、ACS個性解析士として、個性診断や、コーチング講座・セッションなどの活動も増えてきている。



大学院で建築学を修了し、大手間仕切りメーカーで製品開発をしていたが、結婚を機に退職。

同じ会社でパートとして、図面を描くCADオペレーターとして勤務。子どもが2人になり、ほぼワンオペの中、通勤時間片道2時間、勤務時間4時間、一日中、時間に終われ、長男を叩いてしまったことをきっかけに、ウェルビーイングやポジティブ心理学に基づいた子育てを学ぶ。自分がすごく変化したと感じ、子育て講座をZOOMで始め、初講座に20人集客。

時間を作るため、近所の工務店に転職を決めて、退職願いを出したが受理されず、在宅でのお仕事に切り替わることに。15時まで近所のパート、18時まで在宅で図面を描き、21時から講座という生活が始まる。もっと、この講座を広めたいという気持ちはふくらむが、成り行きで起業したこともあり、いろんなところからの収入、確定申告、経営ってどうするの？という疑問がどんどん湧いてきて

その頃、子どもの体幹教室について学んでいた神谷京子さんに相談し、そのご縁で、富永香里さんとの出会い、そして川原塾入塾を決める。

2期から参加した川原塾で、BOSSこと川原悠伍さんと出会い、その人となり川原塾での学びに感銘を受け、やる気になっていたところコロナに突入。パートをやめ、CADオペの仕事も減ってしまったことから、川原さんからお声かけいただき秘書に。講師業で使い慣れていた集客顧客管理ツール（リザスト）、ZOOM、画像制作などオンラインに関わることを中心にサポート。川原さんのもともと持っていた、つい気づいてしまう、言われたことを喜んで、言われた通りにやれる、という自分の個性を見出してもらい、自分を活かせる喜びを感じ、お仕事が楽しいことが幸福感に繋がると確信。また、川原塾の学びが楽しすぎて、2期から10期、また問答会はライブ配信も含め、ほぼ全てに参加。学ぶ一方でなかなか実践できない、学びを活かしきれない自分を感じていたところに、川原塾閉校。川原さんの近くで学ばせてもらった自分にできることがあるのではないかと、ワークショップ型起業塾を始めることを決めた。

ワークショップ型起業塾「USE UP！」は、数字が苦手な普通のパパママだった私が、川原さんから学んだいろんなコンテンツを、秘書として近くでお仕事をさせていただきながら、少しずつ学ばせていただいたことをシェア会や視聴会、講座を通して、お伝えし、使い倒していく起業塾です。

直接やりとりできるからこそ学べたこと、何回も聞いて身につけたこと、それを皆さんと分かち合うコミュニティとして提供することで、数字に向き合えない事業者さんが豊かになる思考をインストールすることを目的とし、学びあうこと、分かち合うことを体験することで結果に繋がると確信しています。